

外国語活動学習指導案

4年2組 東口 貴彰

1. 単元名 「My Daily Life」

2. 研究主題

「未来そうぞう」において育成すべき資質・能力を育む外国語活動の授業づくり

(1) 単元について

本単元の題材は「My Daily Life」である。What time do you ～?と相手に1日の生活について尋ねたり、自分の1日の生活を友だちに紹介したりする単元である。本単元は1日の生活を表す表現や時刻など、取り扱う英語表現が多岐にわたる。そこで、第4学年では、1日の生活を表す表現を7つに絞ることで、その分自分のことをしっかりと伝えたり、相手に積極的に質問したりできるようにした。今回の単元を始めるきっかけは、3年生の時から交流しているオーストラリアの友達からのビデオレターである。日本語で1日の生活について頑張って伝えようとするオーストラリアの子ども達のビデオレターを見て「自分たちも英語で頑張って1日の生活を伝えよう！」という気持ちが芽生えたところで、この単元を始める。本単元の最後には、オーストラリアの子ども達に1日の生活について一人一人がビデオレターを作るが、中には自信のない児童も出てくると考えられる。そこで現在、並行して行なっている大阪教育大学の留学生との交流の単元と関連させ、留学生に自分の1日を伝えたり、留学生の1日の生活について尋ねたりする時間を設ける。実際に外国人との交流活動を行うことで、そこに適度な負荷が生まれ「頑張って外国の人に英語を伝えてみよう！」という気持ちから「どうすれば僕の英語がうまく伝わるかな?」「もう少しゆっくり丁寧に英語を話すと伝わりやすいかも!」と言った「課題への探究心」へと繋がる。更に、留学生との交流をすることで、表現や発音などを教えてもらったり、伝える際のアドバイスをもらったり、ジェスチャーの大切さに気づいたりと多くのことを学ぶこともできる。そうした学びの中で、今までに学習してきた英語が留学生に伝わったという「体験での達成感」が本単元の最後に行うオーストラリアの友だちへのビデオレター作成にもつながる。この「体験への達成感」があることで、子ども達のビデオレターの内容にも変化が生まれ、自分の思いがしっかりと表出できた、より良いものになるのではないかと考える。

(2) 単元の目標

- 積極的に自分の1日を紹介したり、相手の1日を聞き取ったりしようすることができる。
(興味関心)
- コミュニケーションを通し、相手のことを知ったり認め合ったりすることができる。
(人間関係)
- 分からない言葉があれば、ジェスチャー等のノンバーバルコミュニケーションを使って相手に伝えようすることができる。
(表現力)
- ”Key Sentense”や既習の英語表現を使って、自分の1日の生活を伝えたり、相手に質問したりすることができる。
(ことば)

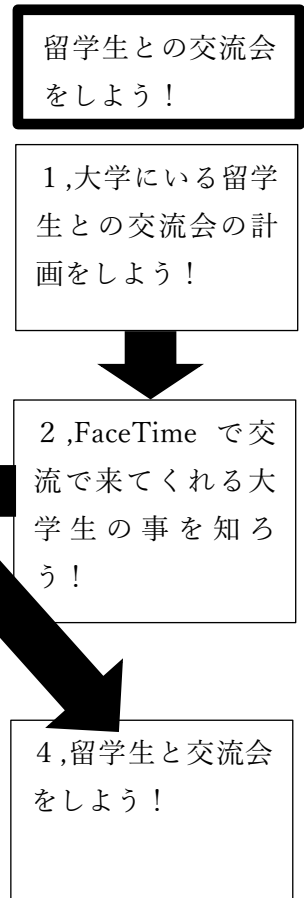
(3) 活動構成の仮説

①外国から来た留学生と実際に交流することで、適度な負荷が加わり、そこから「課題への探究心」が高まり、より豊かな英語表現が身につく

大学にいる留学生と少人数で交流をすることで、その適度な負荷から「未知への好奇心」が生まれ、そこから「課題への探究心」へとつながる。その「課題への探究心」が英語を話したいという意識を高め、基本的な英語表現を用いて自分の伝えたいことを表出する力や、英語表現を積極的に使おうとする態度が養えると考えた。

3. 単元計画

時	活動	子どもの意識の流れ	指導上の留意点
1	時刻や生活時間の言い方を知ろう！	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーストラリアの友だちからビデオレターが来たよ！ ・ 1日の生活について教えてくれているね！ ・ “What time do you go to school?” って言っているね！ ・ 私たちもオーストラリアの友だちに日本の子ども達の1日の生活について教えてあげよう！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーストラリアからのビデオレターを見せる事で、今後の活動の見通しを持ち、意欲的に活動に参加できるようにする。 ・ 世界の時間や、身近な人の1日の生活に関するアクティビティをする事で、時刻や生活時間の言い方や尋ね方について慣れ親しむことができるようにする。
2	友だちに生活時間を訪ねたり、友だちからの質問に答えたりしよう！	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だち同士で1日の生活時間について紹介しあおう！ ・ ○○君ってとても早起きなんだね！ ・ ○○さんは△時に夕食を食べているんだ！ぼくと同じだね！ ・ オーストラリアの僕のベアの友だちは何時に学校に行っているんだろう？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちとの交流を行うことで、相手のことを知ったり、認め合ったりすることができるようにする。
3 本時	大学の留学生に1日の生活を紹介したり、質問したりしてみよう！	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーストラリアの友だちに伝えられるように、日本にいる留学生と英語を頑張って話してみよう！ ・ 上手く英語を伝えるように、ジェスチャーもしてみよう！ ・ 留学生が発音の仕方を教えてくれたよ！ ・ やった！私の英語が通じた！！！！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学の留学生との交流をすることで、英語表現に慣れ親しんだり、アドバイスをもらうことでオーストラリアの子ども達へのビデオレターに活かしたりすることができるようにする。 ・ 児童自身が後に振り返られるように、各班の留学生とのやり取りをビデオで撮影しておく。
4	オーストラリアの友だちに1日の生活を伝えるビデオレターを作ろう①～計画～	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーストラリアの友だちにビデオレターを送ろう！ ・ 大学の留学生に上手く伝わらなかったから、もう少しはっきりと英語を話そう！ ・ 発音も気をつけたほうがいいな！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の留学生との交流をふり返ることで、その時の気づきや、留学生からのアドバイスをビデオレター作成に活かせるようにする。
5 6	オーストラリアの友だちに1日の生活を伝えよう！②③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 撮影してみたけれど、声が小さいな・・・ ・ 友だちに聞いてもらったら、アドバイスをくれたよ！ ・ やっぱ写真を用意したほうが伝わりやすいかな！ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちとアドバイスをし合う時間を設けることで、協力してより良いビデオレターを作成できるようにする。



4. 本時の目標

○積極的に留学生に質問したり答えたりしている。(ことば)

5. 本時で使用する主な表現 (Key Sentences)

【Key Sentences】	
What time do you ~?	
I get up at ~.	I eat breakfast at ~.
I go to school at ~.	I go home at ~.
I eat dinner at ~.	I study at ~.
I go to bed at ~.	